



常磐津「子宝三番叟」

地芝居「三人吉三白浪」

市国際交流協会「SHIRANAMI」

地芝居「吉例曾我対面工藤館の場」

口上を述べる小口さん

こども歌舞伎「白浪五人男 稲瀬川勢揃の場」

舞踊劇「鏡岩」

常磐津「将門」

出演者のお練切

回り舞台見学ツアーを開催

10月9日、回り舞台を見学するツアー（まちづくりネットワーク主催）が、保存会の協力で開催されました。このツアーは、公演を翌週に控える中、本公演をより楽しむために実施。実際に舞台が回る仕組みを間近で見学でき、貴重な体験ができました。また歌舞伎の稽古をしていた子どもたちへ、ツアー参加者から「本番も頑張ってるね」という声援が送られました。

参加者からは、「実際に舞台の下に入って回すところを見られてよかった」という声が多く聞かれ、本公演がさらに楽しみになったようでした。

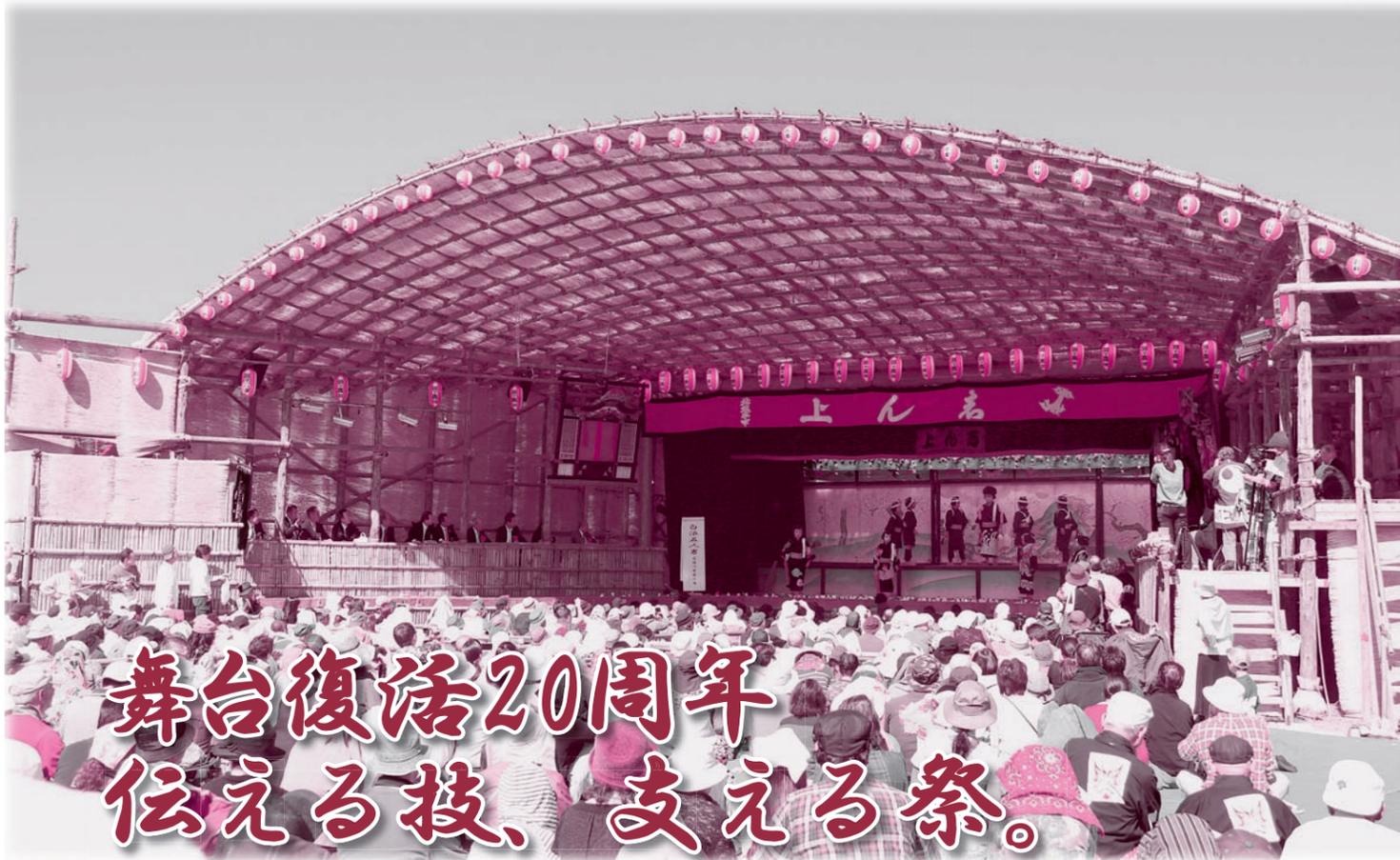


西塩子の回り舞台 第6回定期公演開催

10月15日、日本最古の組立式農村歌舞伎舞台「西塩子の回り舞台」が、3年ぶりに大宮公民館塩田分館グラウンドで開催されました。

8月27日に地鎮祭が行われ、組立て作業が始まりましたが、今年は雨が多く作業は難航。公演日までの約2か月間、保存会のメンバーや地域住民、ボランティアの皆さんが、竹の切り出しから舞台の組立て、舞台背景描きなどに携わり、多くの人たちの力によってこの日を迎えました。

当日は秋晴れとなった会場に約五千人が来場。出演したのは、大宮北小学校4年生の児童、秩父歌舞伎正和会、常磐津教室、楽の会、西若座の皆さん。出演者の迫真の演技や堂々としたセリフ回しにおひねりの雨が降り、大きな拍手が鳴り止みませんでした。また幕間には、市国際交流協会の寸劇、西野内祇園囃子、舟生屋台ばやし、鷺子祭囃子の披露があり、来場者を楽しませました。



舞台復活20周年 伝える技、支える祭。



常磐津「将門」



舞台資材の説明



ボランティア説明会



地鎮祭



NHK「いば6」に出演

